

2007年8月27日
いすゞ自動車株式会社
日野自動車株式会社

いすゞと日野、排出ガス後処理システムおよび大型トラック用キャブの

共同開発について基本合意

いすゞ自動車株式会社（以下 いすゞ、本社：東京都品川区、社長：細井行）と日野自動車株式会社（以下 日野、本社：東京都日野市、社長：近藤詔治）は、本日、ディーゼルエンジンの排出ガス後処理システムおよび大型トラック用キャブ（運転台）を共同開発することで基本合意いたしました。

この基本合意に関して両社は、それぞれの持つ先進技術を活用し、開発資源の効率的な運用を図ることで、今後一層の厳格化が進む各国環境規制への対応等に伴うコスト負担を軽減し、引き続き、お客様により良い商品を提供してまいります。

いすゞと日野は、現在、両社折半出資による「ジェイ・バス株式会社」を通じたバス製造事業での協業を行っているほか、トラック分野においてもユニット供給で協業関係にあります。今後とも両社およびそれぞれのお客様にメリットのある分野での協業関係を続ける一方、益々競争が激化するグローバルなトラック・バス市場においてお互いがフェアな競争関係の中で独自性を発揮し、持続的な成長を目指してまいります。

以上